

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号1736

結婚して3年、我家に赤ちゃんがやってくる事になりました。

そろそろ産まれる月に近づいたある日、テレビから「大樹」という響き、それはドラマの中の子役の名前だったのです。私は、コレダと思い主人に、赤ちゃんの名前は大樹にしようと話しました。

はじめは、そんな名前のつけ方でいいのだろうかと言っていたのですが「大樹」という音の響き、何か元気が出そうで、男の子なら大きく、たくましく育ててほしいと願いをこめて、名前を決めました。

あれから、12年名前のとうり大きく元気に育っている「大樹」です。



青森県下田町の大樹さん

特別住民番号1740

僕の名前は、一本松大樹です。僕は昔から現在にいたるまで一度も自分の名前について親に聞いたことがありませんでした。

でもせっかくだからこれを機に聞いてみることにしました。

僕の名前「大樹」は、僕のおじいちゃんが付けたそうです。

僕のおじいちゃんは昭和35年から43年まで大樹町の近くの幸福町の十勝ばれいしょ農場というところに勤めていたそうです。名字が一本松なので大きな樹に、大きい気持ちとやさしい心を持つように「大樹」と町の名前を借りてつけたそうです。おじいちゃんは僕が1才と2ヶ月の時に亡くなったので、思い出は全くありませんがこの名前を付けてくれてうれしく思います。これからも大きな志とやさしい心を持って「大樹」にはじないように生きていきたいと思います。



千葉県松戸市の大樹さん

特別住民番号1741

私が、初めて北海道を訪れたのは、19年前の事。テレビやポスターでしか見たことのなかった広大な景色に感動し、以来、すっかり北海道に魅せられてしまいました。春は、桜前線を追いかけて。夏は、パッチワークの丘へ。秋は、大雪山の紅葉を。そして、冬は流氷に沈む夕陽を見にと、春夏秋冬、様々な季節に、様々な季節に、様々な場所へ。その都度、素晴らしい自然を見せてくれました。北の大地は、故郷のない私にとって、ふるさとに帰ってきたような懐かしい想いと、やすらぎを与えてくれるような気がして、まるで北海道に恋しているかのようにいつも、逸る想いで逢いに行きました。



そんな私も、その後、結婚をし、男児を出産。是非、息子には、私の大好きな北海道にちなんだ名前がつけたくて、大樹町から「だいき」と命名しました。雄大に広がる大地のように、青空に向かって立つポプラの樹のように、おおらかで、のびのびと育ててほしい。そんな願いをこめて日々、子育てに追われる毎日で、ここ数年、北海道には出かけていませんが、そろそろ北海道に行きたい虫が、騒ぎだしています。思い出の地は、沢山ありますが、今はなき広尾線の車窓から見た景色にもう一度、逢いたいです。残念ながら、大樹町には、まだ、降り立った事はありません。今度、必ず、家族で訪れ、息子はまだ3才ですが、名前の由来を話してあげたいと思っています。そして、いつか、この地に住むことができれば……。私の大きな夢です。(母)

静岡県福田町の大樹さん

特別住民番号1743

私達夫婦は、なかなか子供に恵まれなかったので大樹を授かった時の喜びは、何ごとにもかえがたいすばらしい感動でした。

そんな思いで授かった子供なので名前をつけるにはお互いの思い入れが強くなかなか決まらず何冊も名前にまつわる本を買っては、ああでもないこうでもないと頭をひねっていました。

ある日の車で山の近くをドライブしていると杉の山に行きあたりました。大きなまっすぐに伸びた木を見て二人でひらめきのように大樹にしようと決めました。

とにかく健康でまっすぐ育ってほしい。

大きな木になって枝をたくさん伸ばし葉っぱをたくさんつけて風や雨の時は、たてになってみんなを守ってほしい。

夏の暑い日には木陰になってみんなを休ませてあげてほしい。

そんな人に育ってほしい。(母)



埼玉県富士見市の大樹さん

特別住民番号1746

ぼくが生まれたのは、しょう和63年6月23日です。なぜ、ぼくの名前が大樹になったか、その理由は、

「大きな木にたくさんの人が集まる。」

「大きな木にやすらぎを求める。」

「大きな木にあこがれとたくましさ求めてみんなが集まる。」

と、言う意味で親が付けました。ぼくは、8月17～18日の間、ばん成温泉に泊まりに行きました。

歩いていると、かんばんに「大樹」と言う文字があちこちにたくさんあったので自分の名前をほこりに思いました。その他にも「大樹カマンベルチーズ。」や「大樹とくさん品。」などの名前がありました。自分の名前がたくさんあったのでとてもうれしかったし、おもしろかったです。



千葉県流山市の大樹さん

特別住民番号1747

平成11年4月、中学一年生になった大樹君へ

父である私は、小学生の頃、友人と共に身近にあった田、池、川や林でザリガニ、カエル、カニを捕まえたり、ツバキの実で笛を作ったり、花の蜜を吸うなど、時間を忘れて、遊んでいました。中学、高校を経て、大学及び大学院では、森林を研究対象とする造林学、森林生態学を学ぶことができました。

あなたのお母さんは、大学卒業後、薬剤師として病院に勤務していました。お母さんと出会い、結婚しました。あなたがお母さんのお腹にいることが判ったとき、私の望みは、お母さんも元気、あなたも丈夫に産まれて欲しいことでした。

産まれる前から、名前のことは考えていました。しかし、あなたが産まれてから、お母さんと相談し、最終的に、大樹(ひろき)と決めました。これは、あなたが、大きく、健やかに、また、大地に根を深く張って、どのようなことがあっても、びくともしない、頼りがいのある優しい樹のようになって欲しい、と願って付けたものです。

これまでの12年間、名は体を表すと言いますが、あなたはそうのように育っていると思います。これから様々な事があるでしょうが、名前の如く、頑張ってください。(父)



東京都練馬区の大樹さん

特別住民番号1750

『だいき』が生まれたのは、平成10年4月9日、夜の7時10分。雨の降る日でした。前日夜中に、まだ陣痛の間隔も短くないのに救急車で病院に



行って、看護婦さんに怒られたことを思い出します。予定日より3日遅れで生まれてきた大樹は、3,274グラムの元気な男の子でした。

ところで、「大樹」という名前ですが、お父さんもお母さんも赤ちゃんが目の前にいないと、どんな名前をつけたらいいのか思い浮かびませんでした。そこで生まれてきて、お顔を見てから考えようということになりました。こうなると出生届を出さなければならない期限の二週間は、寝ても覚めても「お名前はどうしましょう」でした。一生ものだし、両親からの最初のプレゼントだし、一応字画も気になるし、おじいちゃん、おばあちゃんに相談したり、いろいろな本も参考にしました。そして、大地にしっかり根をはった大きな大木のように、何事にも動じない、自分の意志をちゃんともった男の子になってほしくてつけました。おまけに字画も三十一画で「大業成就」のとてもいい画数だということです。こうして10日近く名無しのごんべえだった赤ちゃんに名前がついたのでした。

平成10年生まれの男の子に付けられた名前が「大樹」というのは、第5位の人気のある名前でした。他の大樹くんには負けないように頑張れ！！

大樹町の皆さん、全国の大樹さんよろしくお願ひします。(母)

北海道旭川市の大樹さん

特別住民番号1758

ぼくは、予定日より約1ヶ月近くも早く生まれてきました。

そのために、保育器に数日間入っていたと聞きました。小さく生まれてきたので、大きく育つように父親が大樹と命名したと云っていました。

その名の通りぼくは、横の方へ大きくなりすぎ只今ダイエット中です。

いまは、わけがあって福祉作業所へ通っています。名前は「大樹」と大変立派ですが、気持ちは本当にやさしいので、中学の時に、いじめに合い登校拒否を起こし一日中家の中に閉じこもりきりになり、食べる事でストレスを発散させていたので横に大きくなってしまったと思います。

福祉作業所へ通う事にも抵抗がなかったわけではなかったが、勇気を出し、自分自身を見つめなおして、今は社会性、人間関係、仕事と一つ一つ克服して行こうと思っている所です。

一日でも、一年でも早く社会へ出られる様に毎日頑張っているのです。

ぼくの家は、母子家庭のため母にも早く安心してもらえる様にも頑張らないとならないのです。今まで登校拒否をおこしてからは、ずっと迷惑をかけてきたので、これからは、ぼくが助けてあげようと思っています。名前の通りこれからは、何事にも大きくなれるように努力して行こうと思っています。



山形県酒田市の大樹さん

特別住民番号1761

拝啓

残暑お見舞い申し上げます。

貴町ますます御発展のことと心からおよろこび申し上げます。

この度貴町におかれましては、70周年の記念すべき年をお迎えなされるとのことと心からお祝い申し上げます。

さて、先般、新聞紙上において貴町々名と同じ姓名を募集されてることを知り、早速私の息子が該当することから応募させていただきます。

振り返れば昭和52年に息子が誕生した折、その命名に頭を悩ましたのですが家内が「大」の字が好きで男の子であれば必ず付けたいとの要望もあり、また父親である私は「樹」が好きであったことから「大樹」と命名したのであります。そして一般的には「だいき」と読まれるのですが、私共は「ひろき」と読ませることにした次第です。

親の願いはどこでも同じと存じますが、将来、大きくはばたいてくれることを祈って、命名したのであります。

おかげ様で現在、大学に在学中ですが元気で生活していることから安堵していると



ころです。

また、貴町を存じあげたのは私の勤務先の社長が出張で北海道に行った際、記念にとのことで、貴町の駅の入場券を買って来てくれたことでした。その後、当時の当社札幌支店長が、これまた記念にとの事で旧国鉄の「大樹駅」から「幸福駅」までの乗車券を送ってくれたのであります。

以来、何故か貴町への親近感のようなものを感じておったところ今回、この様なすばらしい企画に出合い感動したところです。

貴町にはお伺いしたことがございませんが、いずれの機会には是非、親子で伺ってみたいものと話題にさせていただいております。その機会がありましたらきっとすばらしい町と感激するものと確信しているところです。

とりとめのないことを書きましたが貴町益々のご発展と、そこにお住いされる皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ、この度の応募とさせていただきます。

敬具(父)

愛媛県松山市の大樹さん

特別住民番号1764

今年5月3日、私達夫婦は結婚25周年を記念して北海道を旅した折大樹町を訪れた。日高から山越えで一氣に大樹町に駆け下り坂道、真っ直に伸びた下り道路の眼前に広がる雄大なパノラマを目の当たりにして、私達は思わず「あっ」と感嘆の声をあげ、暫く車を停めて感激に浸っていた。此処が我が息子の言わば第二の故郷大樹町なのかと思うと、いつの日か息子がこの地に立ち、大自然に囲まれた美しい大樹町の特別住民になれたことを、きっと誇りに思うに違いないと感じた。



昭和58年9月15日大樹は三人兄弟の二男として生まれた。彼の誕生には、当時同居していた亡き母と私の間で「生ます」「生まさない」の大ケンカがあり、大樹誕生まで親子間に陰悪な状況が続いた。しかし、その母も大樹が生まれてからは殊の外末っ子を可愛がり、母が亡くなる3年前までは、二人は同居で寝起きを共にしていた。彼は私が丁度40歳になった時の子供である。言ってみれば、男子一生の仕事の内、最後の乾坤一滴ふり絞って作った子であるだけに、鼻の下に薄らと産毛の様な髭を生やす年頃になった今も、可愛さの思い入れがちょっと違うのである。

だから名前を付けるにあたっては、平和な時代に生まれてきた子であるだけに、世の中の荒波に揉まれても、常にしっかりと大地に根を下ろし動じることの無い生き方と、他人の気持を思いやる優しい人間に育てて欲しいとの願いを大きな樹に託したのである。

息子は幼き頃から血漿板減少性紫斑病の難病に苦しめられ、私達は入退院を繰り返すこの子の将来について、随分と不安を抱き心配したものである。しかし、「大樹」という名前には、不思議な力と運の強さが宿っている気がするのである。それは息子の病が回復し、この夏も猛暑の中で高校野球の練習に汗と泥にまみれている姿を見るにつけ、「大樹」と名付けた偶然に感謝するのである。そして、北海道に息子と同名の町、雄大さと優しさを秘めた町、大樹町と結ばれた不思議な緑を大切にしていきたい。(父)